

# 記念特別紙上座談会

# ～新幹線が拓く未来を語ろう

いよいよ東北新幹線全線開業の日を迎えた。青森県八戸市止まりだった東北新幹線が、青森市まで運行される。38年間待ちわびたこの一大イベントに向け、青森県内では官民挙げたさまざまな準備が進められてきた。全線開業は、同県の観光にとって大きな転機となる。新幹線全線開業後の、新しい青森の観光のあり方、可能性について、青森への思いや青森の魅力なども含め、それぞれの立場から語っていただいた。



原口氏



石澤氏

## 青森の魅力・特徴

九戸 いよいよ新幹線開業の日を迎えた。今の気持ちは、三村 今まで「何か青森、背筋にピンとくるものがない」という感じだった。しかし新幹線が全線開業することになって、新幹線という「背骨」が青森から東京、そして来年には鹿児島までピンとつながる。「背骨の一番大事な首っこ」のところがわれわれ青森なんだぞ」という強い思いもある。もちろん38年待ったという思いも強い。

東京の人にとって「遠い青森」だったろうが、われわれにとって「遠い東京」だった。全線開業で、お互いについで行き来でき、交流人口も増え、観光を含めビジネスなど様々なチャンスを生かすことができるようになる。われわれ青森はもう、日本全体、特に首都圏の人々もまで活用してこなかった青森という地域素材、地域資源を様々なことに使っていくことにお互いに気付くのだ。これは新幹線の効果、大きなチャンスだ。

九戸 青森の一番の魅力は何だろうか。石澤 私は青森県の地形が「美しい」と思っています。「まさか」があって、十和田湖がある。大きな「まさか」が、美しい地帯はない、一度見たら絶対忘れない、美しい、印象的な形だ。

三村 ひっくり返せば鹿角島になる(笑)。とにかく青森は「美しい」「美しい」。どの季節、どの場所でも感動できる。そして「楽しい」「面白い」。出会う人、出会う祭り、催しすべてが楽しい。

原口 食、自然、温泉、歴史、文化など、非常に魅力的だ。特に豊かな海の幸。日本海、太平洋、津軽海峡の3面で見守られている青森県ならではの。歴史面では、三内丸山遺跡などの見どころも豊富だ。教科書には載らないような歴史文化の厚みもある。

私がある「青森の魅力は、一人の温かさだ。」



新設されたJR新青森駅 (JR東日本提供)

「異国情緒」といっていい。それが非常に気に入っている。青森の良さだ。三村 本物の「異国情緒」といっていい。それが非常に気に入っている。青森の良さだ。三村 本物の「異国情緒」といっていい。それが非常に気に入っている。青森の良さだ。

「青森の魅力は、一人の温かさだ。」

三村 本物の「異国情緒」といっていい。それが非常に気に入っている。青森の良さだ。

「青森の魅力は、一人の温かさだ。」

三村 本物の「異国情緒」といっていい。それが非常に気に入っている。青森の良さだ。

「青森の魅力は、一人の温かさだ。」

三村 本物の「異国情緒」といっていい。それが非常に気に入っている。青森の良さだ。

「青森の魅力は、一人の温かさだ。」

三村 本物の「異国情緒」といっていい。それが非常に気に入っている。青森の良さだ。

「青森の魅力は、一人の温かさだ。」

三村 本物の「異国情緒」といっていい。それが非常に気に入っている。青森の良さだ。

「青森の魅力は、一人の温かさだ。」

三村 本物の「異国情緒」といっていい。それが非常に気に入っている。青森の良さだ。

「青森の魅力は、一人の温かさだ。」

三村 本物の「異国情緒」といっていい。それが非常に気に入っている。青森の良さだ。

「青森の魅力は、一人の温かさだ。」

三村 本物の「異国情緒」といっていい。それが非常に気に入っている。青森の良さだ。

## 「これが青森」料理で表現

## 「人の温かさ」が可能性拡大

「これが青森」料理で表現

石澤氏

「人の温かさ」が可能性拡大

原口氏

「これが青森」料理で表現

石澤氏

「人の温かさ」が可能性拡大

原口氏

「これが青森」料理で表現

石澤氏

「人の温かさ」が可能性拡大

原口氏

「これが青森」料理で表現

石澤氏

「人の温かさ」が可能性拡大

原口氏

「これが青森」料理で表現

石澤氏



県内各地で街歩きガイドが活躍 (日本キリスト教団弘前教会)

「これが青森」料理で表現

石澤氏

「人の温かさ」が可能性拡大

原口氏

「これが青森」料理で表現

石澤氏

「人の温かさ」が可能性拡大

原口氏

「これが青森」料理で表現

石澤氏

「人の温かさ」が可能性拡大

原口氏

# 12月4日 東北新幹線全線開業

# 今日が幕開け「青森観光新時代」

九戸氏



三村氏



## 座談会出席者(順不同)

青森県知事	三村 申吾氏
東日本旅客鉄道 取締役鉄道事業本部営業部長	原口 幸氏
青森県旅館ホテル生活衛生同業組合 女性部長	石澤 照代氏
コーディネーター	九戸 眞樹氏
青森県観光連盟専務理事	

**九戸** 新幹線開業で心理的距離感解消される。しかし、これまでは県内での2次交通の面で十分でない印象があったのではないかと。2次交通の整備は非常に重要だ。大森線と津軽線にハイブリッドシステムを搭載した新型リゾートレイン「リゾートトレイン」を投入した。これは、2次交通面の利便性を高めるだけでなく、「青森に来た感じが乗る」ことができるように、誘客力の向上にもつながる。地元バス会社との連携や、JR東日本グループによる観光周遊バス「びゅうパス」の運行、

**三村** 好評の観光地を巡る定番タクシー「駅から観光ターミナル」&レンタカーサービス「トレント」の整備もしている。原口 県としても2次交通の充実を徹底的に展開した。JR東日本は経験もノウハウも豊富なので、さまざまなアドバンスを受けながら取り組んだ。距離的に一番遠い東北と津軽半島について、JR東日本が最新鋭のリゾートレインを投入したのに合わせて、完全巡回型交通ネットワークを作った。レンタカーや交通インフラの利便性が大きく、観光客の誘客力アップに大きく貢献している。三村 JRはJALなどと一緒にいろいろな取り組みで、われわれも「立体観光」という言葉

### 2次交通の整備

石澤 県内にある温泉は泉質も個性豊か。確かに大きな温泉地、大量送客に対応できるような温泉旅館は少ない。しかし逆に言えば小規模な温泉、それが昨今の友人同士や退職後のシニア夫婦などの個人客、小グループ志向には合っているのではないかと。単位が小さくなってきているので、小規模の温泉は、今正式には100を超える2次交通のネットワークを構築して、多くの方に使っていただけるようになっている。三村 新幹線開業、通手段として2次交通の充実を徹底的に展開した。JR東日本は経験もノウハウも豊富なので、さまざまなアドバンスを受けながら取り組んだ。距離的に一番遠い東北と津軽半島について、JR東日本が最新鋭のリゾートレインを投入したのに合わせて、完全巡回型交通ネットワークを作った。レンタカーや交通インフラの利便性が大きく、観光客の誘客力アップに大きく貢献している。三村 JRはJALなどと一緒にいろいろな取り組みで、われわれも「立体観光」という言葉

**九戸** 連盟としても、もともと温泉PRの仕方を工夫し、切り口も変えながら、いろいろな財産を持っている。石澤 私たちの温泉は、小さいながらも、日本の観光客に受け入れられるように、おもてなしの心を込めて取り組んでいる。三村 JRはJALなどと一緒にいろいろな取り組みで、われわれも「立体観光」という言葉



3月5日に運行が始まる、新型車両「はやぶさ(E5系)」(写真はE5系系車産先行車、JR東日本提供)

**三村** 「健康」など。例えは黒石温泉郷で「健康」など。原口 青森と当社はまさに「運命共同体」。10年、15年後の青森を思いながら、青森のみなさんと一緒に頑張っていきたい。

## 青森に来て「元氣再生」を

度来て感動する。三村 JRはJALなどと一緒にいろいろな取り組みで、われわれも「立体観光」という言葉

三村 海外に比べれば日本は小さく、青森は東洋の玄関口。三村 JRはJALなどと一緒にいろいろな取り組みで、われわれも「立体観光」という言葉

三村 JRはJALなどと一緒にいろいろな取り組みで、われわれも「立体観光」という言葉



東京・表参道を「青森一色」にしたPRイベント「とことん青森MAX in 原宿表参道」(11月)

**訪日客の受け入れ** 九戸 インバウンドへの取組も今後重要である。観光連盟では観光客の案内板を多言語表示したり、インバウンド受け入れ体制の充実支援のために、中国語の簡体字、繁体字、韓国語、英語の研修を自治体などで実施している。今年に比べて、観光客の増加が予想されている。三村 JRはJALなどと一緒にいろいろな取り組みで、われわれも「立体観光」という言葉

**今後の青森観光** 九戸 これまでの青森観光は、シーズンの観光客が集中する傾向があった。三村 JRはJALなどと一緒にいろいろな取り組みで、われわれも「立体観光」という言葉

三村 JRはJALなどと一緒にいろいろな取り組みで、われわれも「立体観光」という言葉

海外メディア向けのファームツアー